

基本目標 魅力ある「しごと」の機会を創出し、社会動態の改善を目指す	数値目標			分野	KPI	基準値	目標値(H31)	H28.3末値	H29.3末値	H29.9末値	具体的事業	進捗状況	H28年度、及びH29年度上半期の取組み状況（※△、×の場合は、実施できなかった理由を記載）	
	H28.3末値	H29.3末値	H29.9末値										H28年度	H29年度（上半期）
①有効求人倍率：全国平均並み	西村山0.93 (平均)	西村山1.02 ※寒河江 1.20 (平均)	西村山1.11 ※寒河江 1.30 (H29.4～8 平均)	農業支援	紅秀峰栽培面積	40ha (平成26年度)	55ha	43.2ha	46.0ha	49.0ha	・さくらんぼ労働力の確保(収穫期における若手短期労働者への市特産品の支給や研修会開催など)	◎	H28年度	さくらんぼ箱詰め研修会(87人)、さくらんぼボーナス(675人)、さくらんぼ作業体験事業による学生ボランティアの受け入れ(25人)、さくらんぼオーナー制(303件)による収穫作業の軽減など新たに4つの施策を実施。
													H29年度(上半期)	さくらんぼ箱詰め研修会(85人)、さくらんぼボーナス(1,032人)、さくらんぼ作業体験事業による学生ボランティアの受け入れ(15人)、さくらんぼオーナー制(244件)による収穫作業の軽減など4つの施策による労働力確保対策を推進。
													H28年度	市場からの高い評価を背景につや姫ヴィラージュの面積が約16%増加。
														H29年度(上半期)
													H28年度	・紅秀峰 大阪へのトップセールスの継続とマレーシア及び台湾への輸出量の増加を実施。 ・つや姫 ヴィラージュ産米の販路拡大(銀座三越や大阪阪急などのPRなど)
														H29年度(上半期)
													H28年度	・地域伝統野菜(子姫芋など)や枝豆などの生産体制の強化(組織化及び組織強化等)
														H29年度(上半期)
													H28年度	・継続的な生産を支え、作業効率化などを図る設備への支援(高所作業車や雨よけテントなどの設備投資の補助など)
														H29年度(上半期)
H28年度	・後継者への円滑な経営移譲の支援													
	H29年度(上半期)	寒河江市担い手の会と連携しUターン者を含む後継者を育成するために、イベント出展を含む都市部との交流や研修会を実施。 寒河江市担い手の会と連携しUターン者を含む後継者を育成するために、イベント出展を含む都市部との交流や研修会を実施。あわせて農業士会、担い手の会、農業委員会及び寒河江市等が加盟する新規就農者支援育成協議会を通じた支援も実施。												
H28年度	・新規就農者の受け入れ体制の拡大(受入農業経営者への支援など)													
	H29年度(上半期)	新規就農者の円滑な就農を支援する体制づくりの一環として、農業委員会総会、農業士会、認定農業者協議会及び新規就農者支援育成協議会に対して協力を要請するとともに、新規就農者の定住促進の観点から住宅支援(3名)及び営農支援(1名)を実施。												
H28年度	・新規就農者(Uターン者などを含む)の確保等の強化													
	H29年度(上半期)	市内の全認定農業者(251名)宛てに文書にて受入農家に係る協力を要請するとともに、新規就農者の定住促進の観点から住宅支援(3名)及び営農支援(1名)を実施。												
H28年度	・農地集積・集約に向けた農地の流動化の促進(農地中間管理事業の促進など)													
	H29年度(上半期)	農地集積・集約に向けた農地の流動化の促進(農地中間管理事業の促進など)												
H28年度	・6次産業化に向けた組織設立や地産地消の促進など地域内流通等を強化する取組													
	H29年度(上半期)	「さがえのごっつお給食」の実施や寒河江産つや姫やはえぬきの通年採用に加えて、寒河江産野菜を使用したカット冷凍野菜を新たに導入するなど学校給食や木育・食育フェス(約1,600人)を通じた地産地消の食育を推進。												
H28年度	・企業支援ニーズ発掘調査及び支援情報の発信(企業訪問、説明会、メールリスト発信など)													
	H29年度(上半期)	「さがえのごっつお給食」の実施などを学校給食において継続実施するとともに、6次産業化に向けて組織化された子姫芋生産組織に対して保存設備(冷蔵庫や真空包装機など)の整備に係る補助を実施。												
H28年度	・地域資源等を活用した新事業への支援(国・県事業との連携など)													
	H29年度(上半期)	中小企業地域資源活用促進法に基づき「さくらんぼ&つや姫&ニットの里」として「ふるさと名物応援宣言」を実施するとともに、総務省の地域経済循環創造事業を活用した補助(1件)を実施するとともに、市独自に販路拡大支援事業の補助(3件)を実施。												
H28年度	・企業の魅力PRを通じた人材確保への支援													
	H29年度(上半期)	「ふるさと名物応援宣言」を踏まえた国のふるさと名物応援事業補助2件(ニット企業)が採択されるとともに、市の販路拡大支援事業の補助を実施(ニット企業、醸造業、食品加工業の計4件)。												
H28年度	・企業誘致・定着の促進(地域再生計画の策定、工業団地の拡張等)に係る可能性調査の実施)													
	H29年度(上半期)	ハローワークと連携した就職面談会を計4回開催(市内2回、その他県内1回、東京1回/参加企業数84社)。 ハローワークと連携した就職面談会を計1回開催(市内1回/参加企業数23社)。												
H28年度	・金融機関・商工会及び他自治体と連携した広域創業支援体制の整備(創業支援事業計画の策定、相談窓口の設置・セミナーの開催)													
	H29年度(上半期)	寒河江中央工業団地に4社(薬品卸売業・自動車整備業・食材卸業・運送業/計2.2ha)を誘致(未分譲地19.5ha→17.4ha)。 1社(食品製造業/2.4ha)に寒河江中央工業団地を分譲(未分譲地17.4ha→15.0ha)するとともに、(一財)日本立地センターと連携した工業団地に係る企業訪問や地域未来投資促進法に基づく基本計画を山形県とともに策定。												
H28年度	・創業後のきめ細やかな支援(専門家による個別経営指導や地元ネットワークづくりの助成など)													
	H29年度(上半期)	金融機関や商工会から構成される創業支援連絡調整会議を開催(2回)し、西村山1市4町と連携した創業セミナーを2回開催(合計17名参加)するとともに、創業者などをターゲットとした空き店舗対策事業の補助(14件)。 金融機関や商工会から構成される創業支援連絡調整会議を開催(1回)。												
H28年度	・空き店舗情報の発信強化(空き店舗バンクの創設等)													
	H29年度(上半期)	創業後の安定経営を支援する観点から、起業創業支援(8件)及び創業者ビジネスネットワーク構築支援(6件)を実施。 創業後の安定経営を支援する観点から、創業者ビジネスネットワーク構築支援(6件)を実施。												
H28年度	・創業支援事業計画の策定													
	H29年度(上半期)	(平成29年3月のさがえ未来創成戦略改定時に追記した新規項目)												
H28年度	・創業支援対象者数及び創業者数(第2創業含む)													
	H29年度(上半期)	地図情報や店舗内写真などの詳細な空き店舗情報を集約した空き店舗バンクを創設(9月末時点：中心市街地物件6件掲載)。												

※事業毎の進捗状況：◎→平成28年度に実施済み ○→平成28年度に実施していないが、平成29年度に実施済み △→平成28年度に実施していないが、平成29年度実施に向けた準備活動中 ×→平成28年度実施しておらず、実施見通しなし
※複数の担当課がある場合には、下線がある課が取りまとめ課
※H29.9末値が出ない場合は、「-」

基本目標 2 地域資源を磨いて魅力を発信することで交流人口及び定住・移住人口増を図り、社会動態の改善を目指す	数値目標			分野	KPI	基準値	目標値(H31)	H28.3末値	H29.3末値	H29.9末値	具体的事業	進捗状況	H28年度、及びH29年度上半期の取組み状況（※△、×の場合は、実施できなかった理由を記載）		
	H28.3末値	H29.3末値	H29.9末値										H28年度	H29年度(上半期)	
観光振興	①寒河江市を訪れた観光客数:353万人			観光客数	343万人 (平成26年度)	353万人 (平成31年度)	359万人	374万人	-	◎	H28年度	国史跡慈恩寺への観光客受入対策として、第2駐車場トイレの外構並びに大型バス駐車区線を整備。また、山王台公園の展望台へ周辺景色を紹介するパノラマ看板を設置。山形百名山「葉山」への登山客の利便性を図るため、葉山市民荘の給排水を整備。また、大手専門誌とのタイアップにより、葉山・月山・朝日連峰のガイドブック「山形のやま旅」を発行。	H29年度(上半期)	山岳シーズンに合わせ、葉山のガイドブックを関東甲信越圏のアウトドアショップへ配布。慈恩寺旧境内整備検討委員会にて慈恩寺ガイド施設の概要を検討。	
	②今後5年間の社会減改善数:242人(累計)今後5年間の社会減:-158人			宿泊者数	3.6万人 (平成24～26年度平均)	5万人	5.4万人	5.4万人	2.9万人	◎	H28年度	山形どまんなか探訪プロジェクト会議にて、西村山広域観光の魅力発信する1市4町共同の観光パンフレットや葉山・月山・朝日連峰のガイドブック「山形のやま旅」を作成するとともに、1市4町による道の駅フェスや仙台市における観光物産祭りを開催。また、やまがたフルーツ街道を紹介する「自転車旅」のパンフレットを上山市とともに作成。	H29年度(上半期)	西村山1市4町に山形県、中山町及び山辺町等を加えた「フルーツライン左沢線活用協議会」を発足させ、各地域における観光イベント(谷地どんが祭りなど)を連携。	
				外国人観光客数	約1,500人	2,500人	2,250人	1,800人	-	◎	H28年度	西村山1市4町が連携し、観光パンフレットの多言語化、ボランティアガイドの外国人おもてなし研修を実施。特に朝日町と連携し、台湾へのプロモーション用にテレビ番組を製作・放映するとともに、台北市内地下鉄構内に大型看板を設置するなど情報発信を実施。さらに、台湾での東北六県感謝祭に出展し、さくらんぼの種吹きとばし大会等のプロモーションを実施。これに加えて、ポートセールス協議会に加盟し酒田港への大型クルーズ船寄港による観光客の誘致を推進。	H29年度(上半期)	本市への玄関口となるJR寒河江駅構内の観光案内所及び国史跡慈恩寺敷地内へ無料公衆無線LANの整備を推進。	
				観光物産協会等のホームページアクセス数	7.2万回	8万回	10.5万回	9.2万回	6.2万回	◎	H28年度	冬の新たなシンボルイベントなどの四季それぞれでの集客力あるイベントの開催	H29年度(上半期)	桜まつりの新たな観光スポットとして市民体育館裏の二ノ堰の水面に映える桜並木をライトアップ。「さくらんぼ祭り」などにおいて、新たな音楽イベント「チェリフェス」やクラフトフェア「てとて市」の開催や、冷たいラーメン祭りの拡充など、コンテンツの充実によりイベントの魅力向上。	
				イベント域外参加率	83%	85%以上	80.6%	84.4%	87.6%	△	H28年度	西村山1市4町などで構成される山形どまんなか探訪プロジェクト会議に加えて、ポートセールス協議会と連携するなど、県内の他地域との広域観光を推進。また、観光物産協会などと連携して、寒河江祭りにおいてCS調査を実施するなど、データに基づき観光振興を実施。	H29年度(上半期)	西村山1市4町に山形県、中山町及び山辺町等を加えた「フルーツライン左沢線活用協議会」を新たに発足するなど広域観光を推進するとともに、仙台市民1,000名への観光アンケート調査を実施。	
				観光振興戦略の策定	-	策定 (平成28年度中)	-	-	-						
				移住交流ポータルサイト等のアクセス数	-	1万回	3,902	8,194	6,465	◎	H28年度	移住相談窓口において54件の相談に対応したほか、ハローワークとの連携により就職相談時に移住相談ブースを設置(H28.2回開催)。	H29年度(上半期)	80件の移住相談に対応したほか、H29.5.26のハローワークさがえ就職面談会においてUIターン相談に対応。	
				移住相談件数	-	250件 (累計:平成27～31年度)	89	143 (+54)	227 (+84)	◎	H28年度	山形県若者定着奨学金返還支援事業において24名を認定。また、Uターン若者夫婦を対象に奨学金の返還支援を行う、寒河江市若者定着支援未来創成事業を創設。	H29年度(上半期)	山形県若者定着奨学金返還支援事業(5名)及び寒河江市若者定着支援未来創成事業(5名)の募集を開始。	
				U・I・Jターン住宅支援件数	20件 (累計:平成24～26年度)	150件 (累計:平成27～31年度)	73	109 (+36)	164 (+55)	◎	H28年度	子育て定住住宅建築事業(28件92名)及び定住促進賃貸住宅家賃助成事業(8件24名)を実施したほか、新規就農定住促進支援事業をH28.4月より開始(3件6名)。	H29年度(上半期)	H29.9月末時点で昨年度を上回る利用件数となり、子育て定住建築事業(43件157名)及び定住促進賃貸住宅家賃助成事業(14件41名)を実施。	
				シティプロモーション戦略の策定	-	策定 (平成27年度中)	-	策定済	策定済	◎	H28年度	戦略的な魅力発信(シティプロモーション戦略の策定や移住・交流ポータルサイトの開設など)	H29年度(上半期)	平成31年度開所予定の基幹保育所の整備を連動した「寒河江は子育てに本気です！」のプロモーションを実施(県内外の子育てコミュニティ誌への掲載15回)。	
									◎	H28年度	ふるさと納税者等を対象とした山形どまんなか観光物産祭りを開催(来場者数1400名)。また、ふるさと会の仙台寒河江会において、さくらんぼ開園式ツアー(参加者42名)、総会(参加者104名)、「寒河江の秋」満喫ツアー(参加者49名)を開催し、寒河江出身者等との連携を強化(会員数604名)。	H29年度(上半期)	仙台寒河江会においてさくらんぼ開園式ツアー(参加者34名)、総会(参加者104名)及び寒河江祭り神輿の祭典バスツアー(参加者35名)を開催(会員数610名)。		
									◎	H28年度	「NPO支援業務、NPO支援を通じた地域の環境保全活動」、「中心市街地の活性化のためのにぎわい創出イベントや創業の支援」、「市内伝統産業や特産品の魅力発信・ブランド化の推進」、をミッションとした地域おこし協力隊を3名増員。	H29年度(上半期)	「旧田代小学校を改装した宿泊施設の管理・運営」をミッションとした地域おこし協力隊を1名増員。		

※事業毎の進捗状況：◎→平成28年度に実施済み ○→平成28年度に実施していないが、平成29年度に実施済み △→平成28年度に実施していないが、平成29年度実施に向けた準備活動中 ×→平成28年度実施しておらず、実施見通しなし
※複数の担当課がいる場合には、下線がある課が取りまとめ課
※H29.9末値が出ない場合は、「-」

自然動態の改善を目指す 結婚・出産・子育てし未来へ希望を持てる施策を充実し、出生率・出生数を向上させ、	数値目標				分野	KPI						具体的事業	進捗状況	H28年度、及びH29年度上半期の取組み状況（※△、×の場合は、実施できなかった理由を記載）		
	H28.3末値	H29.3末値	H29.9末値			基準値	目標値(H31)	H28.3末値	H29.3末値	H29.9末値						
①合計特殊出生率:1.7人	1.48 (H26.1~12人口動態統計)	1.70 (H27.1~12人口動態統計)	-	-	婚姻率	4.4 (平成25年度)	5	4.3 (平成26年度)	4.7 (平成27年度)	-	-	-	結婚活動への支援(婚活コーディネーターや結婚支援活動団体への支援など)	◎	H28年度	婚活コーディネーターによる結婚活動の支援(成婚件数5件)や結婚支援活動を行う団体へ婚活イベントなどの開催費を助成(2件)したほか、新婚世帯の住居費や引っ越し費用を支援する結婚新生活支援事業を開始。
															H29年度(上半期)	婚活コーディネーターによる結婚活動支援により1件が成婚したほか、結婚新生活支援事業の支援対象世帯(所得340万円未満)及び補助上限額(最大30万円)を拡大し、6世帯が利用。
															H28年度	ハートフルセンター内に「子育て世代包括支援センター」を設置し、保健師の資格を持つ母子保健コーディネーターが常駐して、妊娠、出産、育児に関するあらゆる相談や支援に対応する寒河江型ネウボラを構築。育児不安や育児疲れの解消に「産後ケア事業」を県内自治体で先駆けて開始。子育て支援ガイドブックを保育所や幼稚園等を通じて園児等に配布。
②出生数:平成31年 320人	328 (H27.1~12)	291 (H28.1~12)	179 (H29.1~8)	-	山形いきいき子育て応援企業数	34社 (平成26年度)	50社	37社	40社	40社	-	-	-	◎	H28年度	子育て支援ガイドブックの作成・配布など
															H29年度(上半期)	4月以降に出生された産婦や赤ちゃんに、出産を祝福し子育てを応援するメッセージカードを添えて、赤ちゃん用品や商品券、子育て支援ガイドブック等を贈呈する「さがえっこハッピーギフト事業」(贈呈実績117人)を開始するとともに、産前産後ヘルパー費用助成事業も展開。
															H28年度	任意予防接種であるおたふくかぜ(助成数280人)、ロタウイルス(216人)及びB型肝炎について一部助成を開始。保育料無料化については、第3子保育料無料化を高校3年生から数えて第3子に対象拡大(平成27年度までは小学校6年生から数えて第3子を対象)。※B型肝炎の予防接種はH28年10月に定期予防接種化
結婚・出産・子育て支援	-	-	-	-	子育て支援に満足している方の割合	-	70%以上	-	-	-	-	-	◎	H28年度	任意予防接種であるおたふくかぜ(助成数95人)及びロタウイルス(101人)について一部助成を継続するとともに、季節性インフルエンザの対象年齢を満1歳から小学校入学前までを満1歳から高校3年生相当(18歳)までに拡大して実施(対象者数約4700人増)。小学校給食費については、内容を充実(単価260円⇒280円)したうえで、保護者負担の半額(140円)を助成、第3子以降は全額(280円)助成(実質無料化)。中学校給食についても、内容を充実(295円⇒310円)したうえで、充実分(15円)を助成。保育料無料化については、第3子保育料無料化の対象年齢の年齢制限を撤廃。	
														H29年度(上半期)	任意予防接種であるおたふくかぜ(助成数95人)及びロタウイルス(101人)について一部助成を継続するとともに、季節性インフルエンザの対象年齢を満1歳から小学校入学前までを満1歳から高校3年生相当(18歳)までに拡大して実施(対象者数約4700人増)。小学校給食費については、内容を充実(単価260円⇒280円)したうえで、保護者負担の半額(140円)を助成、第3子以降は全額(280円)助成(実質無料化)。中学校給食についても、内容を充実(295円⇒310円)したうえで、充実分(15円)を助成。保育料無料化については、第3子保育料無料化の対象年齢の年齢制限を撤廃。	
														H28年度	放課後児童クラブを醍醐小学校区(定員20名)及び三泉小学校区(定員20名)に新たに開所し、市内全小学校区に整備。最上川ふるさと総合公園に未満児用遊具及びあずま屋を整備(冒険ファンタジーランドを完成)するとともに、市内児童遊園の遊具についても155基全ての遊具安全点検を実施。	
共通目標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	H28年度	放課後児童クラブを西根小学校区(定員40名)及び南部小学校区(定員25名)に新たに開所。28年度に実施した市内児童遊園遊具の点検結果を受け、「寒河江市キッズパーク整備事業」を立ち上げ、使用不可となった遊具の更新費用に対する補助を6件実施。にしね保育所の定員拡大(30名)。	
														H29年度(上半期)	放課後児童クラブを西根小学校区(定員40名)及び南部小学校区(定員25名)に新たに開所。28年度に実施した市内児童遊園遊具の点検結果を受け、「寒河江市キッズパーク整備事業」を立ち上げ、使用不可となった遊具の更新費用に対する補助を6件実施。にしね保育所の定員拡大(30名)。	
														H28年度	第2次男女共同参画計画(女性活躍推進計画含む)を策定 「女性が輝く職場づくり推進セミナー」を開催(H28.8)(参加者数:33人) 女性管理職向けセミナーを開催(H28.10・12)(参加者数:5人)	
まちづくり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	H28年度	働く女性への支援(働く女性応援プランの策定など)	
														H29年度(上半期)	ダイバーシティ推進セミナーを公益社団法人寒河江青年会議所と共催で開催(H29.5)(参加者120人)	
														H28年度	定住人口の確保と交流人口の増加などを目的とした都市計画マスタープラン(土地利用図及び道路網構造図含む)を策定(平成29年3月)。	
まちづくり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	H28年度	・都市計画マスタープランの全体構想と運動したまちづくりの推進	
														H29年度(上半期)	民間の活力を通じた宅地開発等や道の駅フェリーランドなどの観光拠点ネットワーク形成を通じた「定住人口の確保」や「交流人口の増加」に向けて取り組むとともに、公共施設等総合管理計画に基づく都市機能の集約化を実施。	
														H28年度	・住宅団地造成の促進及び住宅取得の支援	
まちづくり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	H28年度	良好な住環境の整備促進を目的とした宅地開発事業者への助成を4件実施するとともに、個人の住宅取得への補助を実施(103件)。	
														H29年度(上半期)	良好な住環境の整備促進を目的とした宅地開発事業者への助成を1件実施するとともに、個人の住宅取得への補助を実施(102件)。住宅金融支援機構と協定を結び、寒河江市子育て定住住宅建築事業補助金利用の方にフラット35の金利引き下げを開始。	
														H28年度	空き家バンクの利用をPRするとともに、老朽空き家の解体事業補助金を利用し1件解体。	
まちづくり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	H29年度(上半期)	空き家バンクの案件発掘(新規登録1件/3件登録中)を行うとともに、バンクの利用を促進(契約1件成立)。	
														H28年度	若手経営者などによるまちづくり勉強会の実施(講演会1回、ワークショップ3回、研修1回 会員13人参加)。空き店舗等対策支援事業の補助(14件)、にぎわい創出支援事業の補助(6件)、寒河江駅前自由市場(ちえり〜マルシェ)全10回:のべ参加者数8,600人)及びふれあい駅前盆踊り大会(参加者数2,000人)を開催するとともに、中心市街地活性化センター(フローラ・SAGAE)の活性化を実施(地階の文化交流広場の縦帳設置及び常設カラーリングコートの整備、4階のみんなの広場に子ども用遊具の整備及びふれあいまちかどカフェの開設、新たなテナント等の入居(3件))。	
														H29年度(上半期)	にぎわい創出支援事業の補助(2件)、寒河江駅前自由市場(ちえり〜マルシェ)の実施(上半期10回:のべ参加者数5,926人)及びふれあい駅前盆踊り大会(参加者数1,500人)を開催するとともに、中心市街地活性化センター(フローラ・SAGAE)の活性化を実施(屋上スペースの利活用の実施(映画上映会2回やビアガーデン2回の開催など))。	
まちづくり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	H28年度	空き家バンクの活用を促す観点から空き店舗の改装補助(5件)及び賃貸補助(9件)を実施するとともに、雪対策としては、雪の総合窓口を設置し、きめ細かな除雪の実施(一斉除雪12回)。	
														H29年度(上半期)	空き店舗/バンクによる空き店舗情報を発信するとともに、空き店舗賃貸補助(9件)を実施。	
														H28年度	H28.11まで実施した市内循環バス実証運行利用者の意見を踏まえダイヤ等を見直し、H28.12から市内循環バス本格運行開始。(本格運行後、1日あたり平均12.1人利用)	
まちづくり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	H29年度(上半期)	H29.4から山交バス路線寒河江・月山銘水館線の西川町営バスによる道の駅にしかわ・寒河江駅線代替運行開始。H29.6に開催した市地域公共交通会議にてデマンドタクシーと市内循環バスの利便性を高めるための見直しについて承認を受けた。(下半期にて承認事項(デマンドタクシー:共通乗降場の整理、循環バス:ダイヤ改正等)を実施予定。)	
														H28年度	・地域づくり支援を通じた地域の拠点化(廃校の利活用など)	
														H29年度(上半期)	旧田代小学校を核としたコミュニティビジネスを創出し、地域の拠点化を図るため、H29.2月に旧田代小学校利活用基本計画を策定。地域いきいき元気づくり事業において11件の補助を実施。	
まちづくり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	H28年度	旧田代小学校を核としたコミュニティビジネスを創出し、地域の拠点化を図るため、H29.2月に旧田代小学校利活用基本計画を策定。地域いきいき元気づくり事業において11件の補助を実施。	
														H29年度(上半期)	旧田代小学校利活用基本計画に基づき、旧田代小学校の改装工事着工(H29.8月)。地域の活力アップ応援事業において3件の補助を実施。	

※事業毎の進捗状況: ◎→平成28年度に実施済み ○→平成28年度に実施していないが、平成29年度に実施済み △→平成28年度に実施していないが、平成29年度実施に向けた準備活動中 ×→平成28年度実施しておらず、実施見通しなし
※複数の担当課がいる場合には、下線がある課が取りまとめ課
※H29.9末値が出ない場合は、「-」